



ユーザーガイド

© Copyright 2018 HP Development Company, L.P.

HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。Microsoft および Windows は米国またはその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して責任を負いかねますのでご了承ください。

製品についての注意事項

このガイドでは、ほとんどのモデルに共通の機能について説明します。一部の機能は、お使いの製品では使用できない場合があります。最新版のユーザーガイドを確認するには、HP のサポート Web サイト、<https://support.hp.com/jp-ja/> にアクセスし、説明に沿ってお使いの製品を探します。**[ユーザーガイド]**を選択します。

改訂第 1 版：2018 年 6 月

初版：2018 年 5 月

製品番号：L23155-292

このガイドについて

このガイドでは、モニターの機能、設置方法、ソフトウェアの使用方法、および技術仕様について説明します。

-
- ⚠ **警告**：回避しなければ死亡または重傷に至る**可能性のある危険な状況**を示します。
 - ⚠ **注意**：回避しなければ軽度または中度の傷害に至る**可能性のある危険な状況**を示します。
 - 📄 **重要**：重要と考えられるものの、危険性に関わるとは見なされない情報を示します（本体の損傷に関する記載など）。この重要事項は、説明に沿って正しく操作しなければ、データの損失やハードウェアまたはソフトウェアの破損を引き起こす可能性があることをユーザーに警告します。また、概念を説明したり、タスクを完了したりするための重要な情報を示します。
 - 📖 **注記**：本文の重要なポイントを強調または補足する追加情報を示します。
 - 💡 **ヒント**：タスクを完了させるために役立つヒントを示します。
-

HDMI™
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

この製品には HDMI（High-Definition Multimedia Interface）テクノロジーが搭載されています。

 **VESA CERTIFIED**
DisplayHDR™ 600

目次

1 お使いになる前に	1
安全に関する重要な情報	1
製品の特長および各部	2
特長	2
背面および側面の各部	3
モニターの設置	5
モニターを設置するときの注意	5
モニター スタンドの取り付け	5
ケーブルの接続	6
USB デバイスの接続	9
モニターの調整	9
モニターの電源投入	10
モニターの取り付け	11
モニター スタンドの取り外し	11
VESA 準拠のマウントキットの取り付け	12
2 モニターの使用	13
ソフトウェアおよびユーティリティ	13
情報ファイル	13
Image Color Matching ファイル	13
ユーティリティ ソフトウェアのダウンロード	13
[HP My Display]ソフトウェアの使用	14
ソフトウェアのダウンロード	14
ソフトウェアの使用	14
オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューの使用	14
自動スリープモードの使用	15
3 サポートおよびトラブルシューティング	16
一般的なトラブルの解決方法	16
ボタンのロックアウト	17
HP のサポート窓口へのお問い合わせ	17
お問い合わせになる前に	17
製品ラベルの位置	18

4 モニターの保守	19
保守に関するガイドライン	19
モニターの清掃	20
モニターの運搬	20
付録 A 技術仕様	21
プリセットディスプレイ解像度	22
ユーザー モードの使用	23
電源アダプター	23
省電力機能	23
付録 B ユーザー サポート	24
サポートされている支援技術	24
HP のサポート窓口へのお問い合わせ	24

1 お使いになる前に

安全に関する重要な情報

お使いのモニターには電源コードが付属しています。この製品を日本国内で使用する場合は、製品に付属している電源コードのみをお使いください。また、付属している電源コードは他の製品には使用できません。モニターに接続する適切な電源コードについて詳しくは、『Product Notices』（製品についての注意事項）を参照してください。このドキュメントは、ドキュメントキットに収録されています。

⚠ 警告！ 感電や装置の損傷を防ぐため、必ず以下の注意事項を守ってください。

- 電源コードは常に、装置の近くの手が届きやすい場所にある電源コンセントに接続してください。
- モニターへの外部電源の供給を完全に遮断して待機電力をカットするには、電源を切った後、電源コードをコンセントから抜いてください。
- 安全に使用するため、必ず電源コードのアース端子を使用してアース（接地）してください。2ピンのアダプターを接続するなどして電源コードのアース端子を無効にしないでください。アース端子は、製品を安全に使用するための重要な装置です。

安全のために、電源コードや電源ケーブルの上には物を置かないでください。また、コードやケーブルは、誤って踏んだり足を引っかけたりしないように配線してください。電源コードや電源ケーブルを引っぱらないでください。コンセントから抜くときは、プラグの部分を持ってください。電源コードおよび電源コンセントの外観は国や地域によって異なります。

操作する人の健康を損なわないようにするため、『快適に使用していただくために』をお読みください。正しい作業環境の整え方や、作業をするときの正しい姿勢、および健康上/作業上の習慣について説明しており、さらに、重要な電氣的/物理的安全基準についての情報も提供しています。このガイドは、HP の Web サイト、<http://www.hp.com/ergo/>（英語サイト）から[日本語]を選択することで表示できます。

📖 重要： モニターおよびコンピューターの損傷を防ぐために、コンピューターおよび周辺装置（モニター、プリンター、スキャナーなど）のすべての電源コードをマルチソケットや無停電電源装置（UPS）などのサージ防止機能のあるサージ保安器に接続してください。マルチソケットの種類によっては、サージに対応していない場合があります。サージ防止機能のあるマルチソケットを使用することをおすすめします。サージ防止に失敗した場合は機器を交換できるように、損傷交換ポリシーを提供している製造販売元のマルチソケットを使用してください。

お使いの HP LCD モニターは、十分な大きさがあり丈夫で安定しているモニター設置用の台などに設置してください。

⚠ 警告！ 化粧だんす、本棚、棚、机、スピーカー、チェスト、またはカートなどの上に LCD モニターを不用意に置いた場合、LCD モニターが倒れて怪我をするおそれがあります。

LCD モニターに接続するすべてのコードおよびケーブルについて、抜けたり、引っかかったり、人がつまずいたりしないように注意する必要があります。


📖 注記： この製品は、エンターテインメント目的に適しています。モニターを設置するときは、近くにある光源やその他の周辺光が原因で画面の乱反射が起きることのないよう、照明を調節した環境に設置するようにしてください。


製品の特長および各部

特長

この製品は AMD FreeSync 対応モニターで、画像が変化しても滑らかで反応が早く、目に刺激を与えない画面で PC ゲームを楽しむことができます。モニターに接続されている外部ソースに、FreeSync ドライバーがインストールされている必要があります。

AMD FreeSync テクノロジーは、ゲームやビデオが滑らかに動かなかったり目に刺激を与えたりする問題をなくすために、モニターのリフレッシュレートをグラフィックスカードのフレームレートに固定します。特定の機能については、お使いのコンポーネントやシステムの製造元に問い合わせてください。


 **重要：** AMD Radeon グラフィックスおよび AMD A シリーズ APU 準拠のモニターでは、DisplayPort/HDMI Adaptive-Sync が必要です。HDMI 経由での FreeSync をサポートするには、AMD 15.11 Crimson 以降のドライバーが必要です。

 **注記：** 適切なリフレッシュレートは、モニターによって異なります。詳しくは、<http://www.amd.com/ja/technologies/free-sync/> を参照してください。

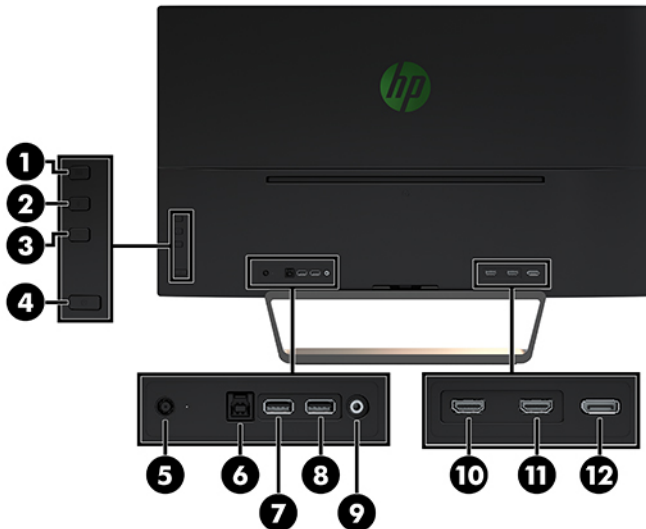
モニターで FreeSync を有効にするには、モニターの **メニュー** ボタンを押してオンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを表示します。**[カラー コントロール]**→**[表示モード]**→**[HDR ゲーミング : FreeSync]**の順にクリックします。

発光ダイオード (LED) バックライトモニターでは、アクティブマトリクス方式の AMVA+画面を採用しています。このモニターの特長は以下のとおりです。

- 2560×1440 WQHD 以下の解像度をサポートする、32 インチ (対角長 81.3 cm) の表示領域
- 傾斜角度調整機能付きでさまざまな角度からでも見やすい表示画面
- AMVA+テクノロジーにより、広い視野角を実現し、色の整合性を維持
- HDMI (High-definition Multimedia Interface) ビデオ入力
- DisplayPort ビデオ入力
- 固定器具に取り付ける場合に便利な取り外し可能なスタンド
- プラグアンドプレイ機能 (お使いのオペレーティングシステムでサポートされる場合)
- 簡単な設定で画面の最適化を可能にする、OSD による画面調節機能 (10 言語に対応)
- Windows®を使ってモニターの設定を調整する[HP My Display]ソフトウェア
- デジタル入力で使用される HDCP (High-bandwidth Digital Content Protection)
- モニター本体を壁面取り付け器具またはスイングアームに取り付けるための VESA 準拠のマウントキット
- USB 3.0 ハブ (アップストリームポート×1、ダウンストリームポート×2)
- AMD FreeSync に対応しているため、画像が変化しても滑らかで反応が早く、目に刺激を与えない画面で PC ゲームを楽しむことが可能
- VESA (Video Electronics Standards Association) 認定の DisplayHDR (High Dynamic Range)

 **注記**：安全情報および規定に関する情報については、ドキュメントキットに収録されている『Product Notices』（製品についての注意事項）を参照してください。最新版のユーザーガイドを確認するには、HP のサポート Web サイト、<https://support.hp.com/jp-ja/> にアクセスし、説明に沿ってお使いの製品を探します。[ユーザーガイド]を選択します。

背面および側面の各部



名称	機能
1 メニュー ボタン	オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを開いたり、OSD のメニュー項目を選択したり、OSD メニューを閉じたりします
2 + (プラス) ボタン	OSD メニューが表示されているときに押すと、メニューの項目間を順方向に移動したり調整レベルを上げたりできます OSD メニューが表示されていないときに押すと、次の入力コネクタ (DisplayPort、HDMI 1、HDMI 2) に進みます
3 - (マイナス) ボタン	OSD メニューが表示されているときに押すと、メニューの項目間を逆方向に移動したり調整レベルを下げたりできます OSD メニューが表示されていないときに押すと、[表示モード]メニューが開きます
4 電源 ボタン	モニターの電源のオン/オフを切り替えます
5 電源 コネクタ	外部電源アダプターを接続します
6 USB 3.0 ポート (アップストリーム)	USB ハブケーブルを入力デバイスに接続します
7 充電機能付き USB 3.0 ポート (ダウンストリーム)	別売の USB デバイスをモニターに接続します
8 充電機能付き USB 3.0 ポート (ダウンストリーム)	別売の USB デバイスをモニターに接続します

名称	機能
9 オーディオ出力（ヘッドフォン）コネクタ	別売または市販の別途電力が供給されているステレオスピーカーまたはヘッドフォンをモニターに接続します 警告！ 突然大きな音が出て耳を傷めることがないように、音量の調節を行ってからヘッドフォン、イヤフォン、またはヘッドセットを使用してください。安全に関する情報について詳しくは、『Product Notices』（製品についての注意事項）を参照してください 注記： ヘッドフォンコネクタにデバイスを接続すると、コンピューター本体のスピーカーは無効になります
10 HDMI 入力端子	HDMI ケーブルを入力デバイスに接続します
11 HDMI 入力端子	HDMI ケーブルを入力デバイスに接続します
12 DisplayPort	DisplayPort ケーブルを入力デバイスに接続します

注記：充電機能付き USB 3.0 ダウンストリームポートは、スマートフォンやタブレットなどのデバイスも充電できます。OSD メニューで設定を変更することにより、モニターの電源ボタンがオフになっているときでも充電できるようになります。OSD メニューを開いて、**【電力コントロール】→【電源モード】→【パフォーマンス】**の順に選択します。

モニターの設置

モニターを設置するときの注意

モニターの損傷を防止するため、LCD画面の表面には触れないでください。画面への圧力によって、液晶に色むらや歪みが発生する場合があります。このような状態になった場合、画面を元に戻すことはできません。

スタンドを取り付ける場合は、モニターの前面を下向きにして、保護用のシートまたは研磨剤が入っていない布を敷いた、安定した平らな場所に置きます。これにより、画面を傷つけたり、汚したりすることや、コントロールボタンを損傷したりすることを防止できます。

モニター スタンドの取り付け


△ 注意：画面は壊れやすいものです。画面に触れたり、圧力を加えたりすることは避けてください。画面が損傷するおそれがあります。

☀ ヒント：モニターを設置するときは、近くにある光源やその他の周辺光がディスプレイパネルの縁で反射するような向きにならないように配置してください。


1. モニターを梱包箱から取り出し、保護用のシートまたは研磨剤が入っていない布を敷いた安定した平らな場所に、ディスプレイパネル前面を下向きにして置きます。
2. スタンドをモニターに取り付けるには、スタンドの上部にあるブラケットを、カチッと音がするまでモニター本体の背面のスロットに差し込み、所定の位置にしっかりと固定します。




ケーブルの接続

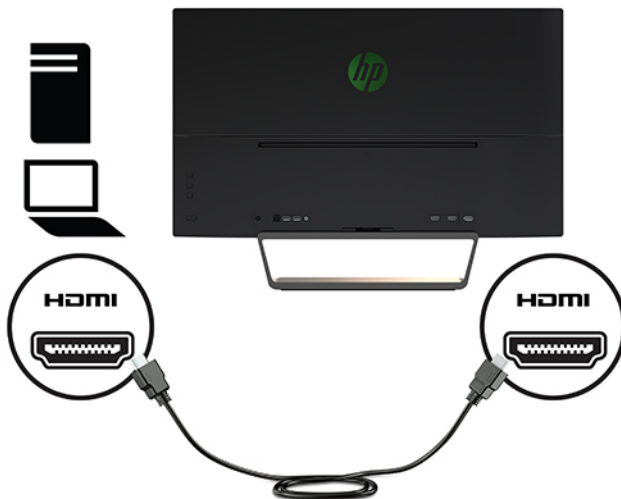
 **注記**：モニターには一部のケーブルが付属しています。このセクションで示されているケーブルの中には、モニターに付属していないものもあります。

1. コンピューターの近くの作業がしやすく通気の良い場所にモニターを置きます。
2. ビデオケーブルを接続します。

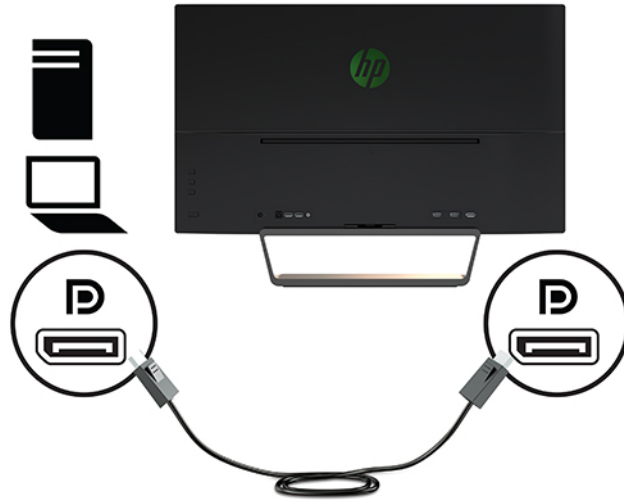
 **重要**：同時に複数のビデオケーブルを接続すると、動作に不具合が生じてモニターに画像が表示されなくなるおそれがあります。コンピューターとモニターを接続するときは、1種類のビデオケーブルで接続してください。別の方法に変更する場合は、使用しないケーブルを取り外してください。

 **注記**：入力系統から、有効なビデオ信号がモニター側で自動的に判別されます。手動でビデオ入力信号を選択するには、モニターの側面にある **+**（プラス）ボタンを押すか、**メニュー** ボタンを押し、**[入力コントロール]**を選択してオンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューを使用します。

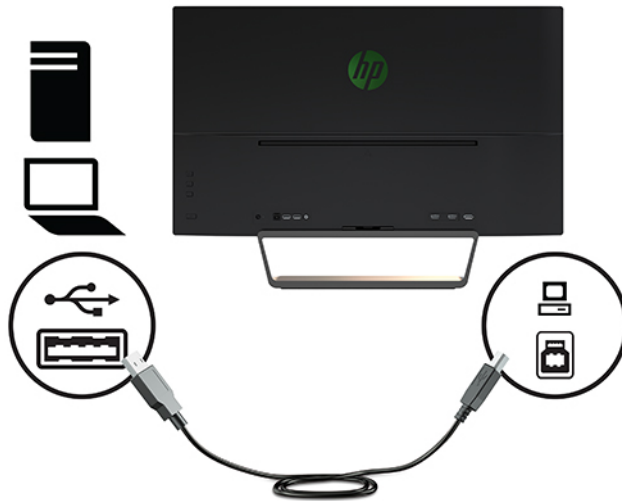
- HDMI ケーブルの一方の端をモニターの背面の HDMI 入力端子に接続し、もう一方の端を入力デバイスに接続します。



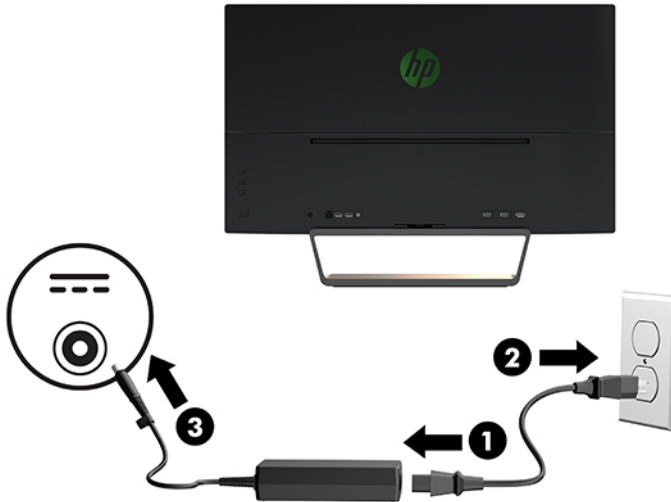
- DisplayPort ケーブルの一方の端をモニターの背面の DisplayPort に接続し、もう一方の端を入力デバイスの DisplayPort に接続します。



3. USB アップストリーム ケーブルの一方の端をモニターの背面の USB アップストリーム ポートに接続し、もう一方の端を入力デバイスの USB ダウンストリーム ポートに接続します。



4. 電源コードの一方の端を電源アダプターに接続し (1)、もう一方の端をアース (接地) された電源コンセントに接続して (2)、電源コードの丸い端をモニターに接続します (3)。




⚠ 警告！ 感電や装置の損傷を防ぐため、必ず以下の注意事項を守ってください。

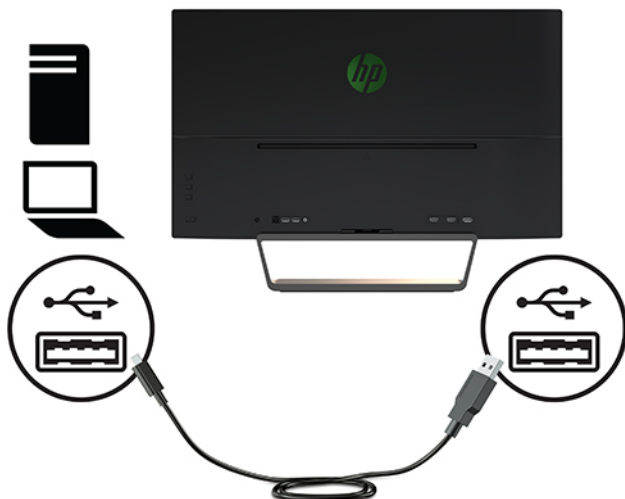
- 必ず電源コードのアース端子を使用してアースしてください。アース端子は、製品を安全に使用するための重要な装置です。
- 電源コードは常に、装置の近くの手が届きやすい場所にあるアースされた電源コンセントに接続してください。
- 製品への外部電源の供給を完全に遮断するには、電源を切った後、電源コンセントから電源コードのプラグを抜いてください。

安全のために、電源コードや電源ケーブルの上には物を置かないでください。また、コードやケーブルは、誤って踏んだり足を引っかけたりしないように配線してください。電源コードや電源ケーブルを引っぱらないでください。電源コードを電源コンセントから抜くときは、プラグの部分を持ってください。電源コードおよび電源コンセントの外観は国や地域によって異なります。

USB デバイスの接続

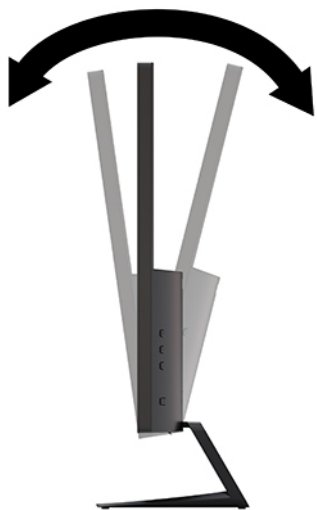
モニターの背面に、USB アップストリーム ポートが1つ、USB ダウンストリーム ポートが2つあります。

 **注記**：モニターの USB ダウンストリーム ポートを有効にするには、USB アップストリーム ケーブルをコンピューターからモニターに接続する必要があります。手順について詳しくは、[6 ページのケーブルの接続](#)を参照してください。



モニターの調整

モニター本体を前または後ろに傾けて、見やすい位置に設定します。



モニターの電源投入

1. 入力デバイスの電源ボタンを押して、入力デバイスの電源を入れます。
2. モニターのフロントパネルにある電源ボタンを押してモニターの電源を入れます。



重要：モニターに長時間*一定の画像を表示したままにしておくと、残像が表示されることがあります。モニター画面に残像が表示されないようにするには、常にスクリーンセーバーアプリケーションを有効に設定しておくか、長時間モニターを使用しないときはモニターの電源を切ります。残像はすべての LCD 画面で発生する可能性があります。一定の時間が経過すると自然に消えます。モニター画面の「焼き付き」は、HP の保証の対象外です。

*ここでの長時間とは、使用されていない状態が 12 時間連続することを指します。

注記：電源ボタンを押しても電源が入らない場合は、電源ボタンのロックアウト機能が有効になっている可能性があります。この機能を無効にするには、モニターの電源ボタンを 10 秒程度押し続けます。


注記：電源ランプはオンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューで無効にできます。モニターのフロントパネルの **メニュー** ボタンを押して、**[電力コントロール]** → **[電源ランプ]** → **[オフ]** の順に選択します。


モニターの電源が初めて入ると、モニターステータスメッセージが 5 秒間表示されます。このメッセージには、現在アクティブなビデオ入力信号、ソース自動切り替え設定のステータス (オンまたはオフ、工場出荷時の初期設定はオン)、現在のプリセットディスプレイ解像度、および推奨されるプリセットディスプレイ解像度が示されます。

モニターは入力信号をスキャンしてアクティブな入力を検出し、その入力を使用して画像を表示します。


モニターの取り付け

モニター本体は、壁、スイングアーム、またはその他の固定器具に取り付けることができます。

 **注記：**この装置は、UL または CSA 準拠の壁へのマウントキットで支えられるように設計されています。

 **注意：**このモニターは、VESA 準拠の 100 mm 間隔の取り付け穴をサポートします。このモニターに他社製の固定器具を取り付けるには、4 mm、0.7 ピッチのネジ穴が 4 個ある器具で、長さ 10 mm のネジを使用する必要があります。これより長いネジを使用すると、モニターが損傷する可能性があります。また、取り付ける固定器具が VESA 基準に準拠していることおよびモニターの質量を支えられる仕様になっていることを確認してください。最適な状態で使用するには、モニターに付属の電源コードおよびビデオケーブルを使用してください。

モニター スタンドの取り外し

 **注意：**モニターの取り外し作業を始める前に、モニターの電源が切られていることおよびすべてのケーブルを取り外してあることを確認してください。

1. モニターからすべてのケーブルを取り外します。
2. モニターの前面を下向きにして、保護用のシートまたは研磨剤が入っていない布を敷いた、安定した平らな場所に置きます。
3. リリースラッチを押し下げ (1)、スタンドをスライドさせてモニター本体のスロットから取り外します (2)。



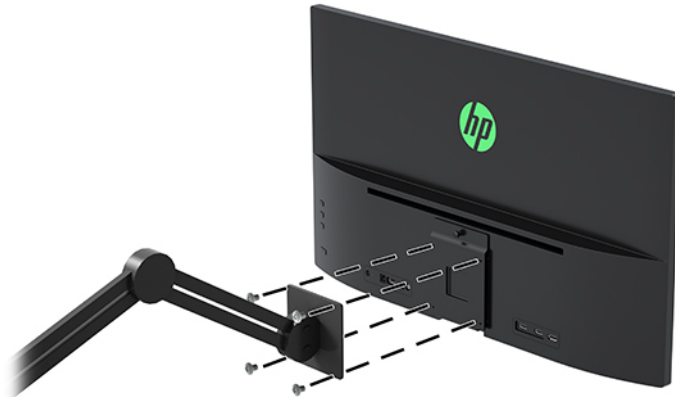
VESA 準拠のマウントキットの取り付け

VESA 準拠のマウントキットがモニターに付属しており、モニター本体を壁、スイングアーム、またはその他の固定器具に取り付けるときに使用できます。

1. モニター スタンドを取り外します。詳しくは、[11 ページのモニター スタンドの取り外し](#)を参照してください。
2. モニター本体の背面の中央からネジを取り外します。
3. VESA 準拠の器具の下部にあるタブを、カチッと音がするまでモニター本体の背面にあるスロットに差し込んで所定の位置に固定し (1)、モニター本体の中央に取り付けられていたネジで器具の上部を固定します (2)。



4. モニターをスイングアームまたはその他の取り付け器具に取り付けるには、4 本の取り付けネジを、取り付け器具にある穴に通してから、モニターの背面に取り付けられていた VESA 準拠の器具のネジ穴に差し込みます。



2 モニターの使用

ソフトウェアおよびユーティリティ

次のファイルを <https://support.hp.com/jp-ja/> からダウンロードし、インストールできます。

- INF（情報）ファイル
- .ICM（Image Color Matching）ファイル（調整済みの色空間ごとに1つ）
- [HP My Display]ソフトウェア


情報ファイル

.INF ファイルは、モニターとお使いのコンピューターのグラフィックスアダプターとの互換性を確保するために、Windows オペレーティングシステムが使用するモニターリソースを定義します。

このモニターは Windows プラグアンドプレイ機能に対応しており、INF ファイルをインストールしなくても正常に動作します。モニターのプラグアンドプレイ機能を利用するには、コンピューターのグラフィックスカードが VESA DDC2 に準拠しており、モニターが直接グラフィックスカードに接続されている必要があります。BNC 分岐コネクタまたは分配バッファー/分配ボックスを通して接続されている場合、プラグアンドプレイ機能は利用できません。

Image Color Matching ファイル

ICM ファイルはグラフィックスプログラムとともに使用されるデータファイルで、モニターとプリンター間またはスキャナーとモニター間の色調を調整します。このファイルは、プロファイルをサポートするグラフィックスプログラムの実行時に有効になります。

 **注記** : .ICM のカラー プロファイルは、ICC（International Color Consortium）のプロファイル形式の仕様に基づいて記述されています。

ユーティリティソフトウェアのダウンロード

最新のバージョンの .INF および .ICM ファイルを HP のモニターのサポート Web サイトからダウンロードするには、以下の操作を行います。

1. HP の Web サイト、<https://support.hp.com/jp-ja/> にアクセスします。
2. **[製品から探す]** を選択し、画面の説明に沿って操作します。
3. **[ソフトウェアとドライバー]** → **[ドライバー - ディスプレイ/モニター]** の順にクリックし、ドライバーの一覧を開きます。
4. ドライバーをクリックします。
5. 該当するドライバーの **[ダウンロード]** をクリックし、画面の説明に沿ってソフトウェアをダウンロードします。

[HP My Display]ソフトウェアの使用

[HP My Display]ソフトウェアを使用して、最適な表示の設定を選択します。ゲーム、ムービー、写真編集、またはドキュメントおよびスプレッドシートの作業の設定を選択できます。[HP My Display]ソフトウェアを使用して、輝度、色、コントラストなどの設定を簡単に調整することもできます。

ソフトウェアのダウンロード

[HP My Display]ソフトウェアをダウンロードするには、以下の操作を行います。

1. HP のサポート Web サイト、<https://support.hp.com/jp-ja/> にアクセスします。
2. **[ソフトウェアとドライバー]**または**[ソフトウェア/ドライバー]**を選択し、お使いのモニターのモデルを検索します。
3. 必要に応じて、一覧からモニターを選択します。
4. お使いのオペレーティングシステムが自動的に検出されない場合は、オペレーティングシステムを選択します。
5. **[ユーティリティ-ツール]**をクリックし、ユーティリティおよびツールの一覧を開きます。
6. **[HP My Display]**をクリックします。
7. **[ダウンロード]**をクリックし、画面の説明に沿って[HP My Display]をダウンロードします。

ソフトウェアの使用

[HP My Display]ソフトウェアを開くには、以下の操作を行います。

1. タスクバーの**[HP My Display]** アイコンをクリックします。
または
タスクバーにある Windows の**[スタート]**をクリックします。
2. **[すべてのプログラム]**をクリックします。
3. **[HP My Display]** をクリックします。
4. **[HP My Display]** を選択します。
詳しくは、ソフトウェアの画面の**[ヘルプ]**を参照してください。

オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューの使用

オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを使用して、好みに応じて画面表示を調整します。モニターの右側面の機能ボタンまたはリモコンのボタンを使用すると、OSD メニューにアクセスして調整できます。

OSD メニューにアクセスして調整するには、以下の操作を行います。

1. モニターの電源が入っていない場合は、電源ボタンを押してモニターの電源を入れます。
2. OSD メニューにアクセスするには、モニターの右側にある**メニュー** ボタンを押します。
3. OSD メニュー内を移動するには、モニターの右側面にある **+** (プラス) ボタンを押して上にスクロールするか、**-** (マイナス) ボタンを押して下にスクロールします。

- OSD メニューから項目を選択するには、+ ボタンか - ボタンでスクロールして選択する項目を強調表示させ、**メニュー** ボタンを押して機能を選択します。
- + ボタンまたは - ボタンを押してスケールを調整します。
- 機能を調整したら**[Save and Return]**（保存して戻る）を選択します。または、設定を保存しない場合は、**[Cancel]**（キャンセル）を選択して表示されるメインメニューから**[Exit]**（終了）を選択します。

メインメニュー	説明
ブライトネス	画面の輝度を調整します。工場出荷時の初期設定は 90 です 注記： ダイナミック コントラスト/高ダイナミック レンジ（HDR）モードがオンになっているときは、ブライトネスの手動調整は無効です
コントラスト	画面のコントラストレベルを調整します。工場出荷時の初期設定は 80 です
入力コントロール	ビデオ入力信号を選択します
カラー コントロール	画面の色を選択および調整したり、表示モード（[低ブルー ライト]、[HDR]、[FreeSync]など）を選択したりします
イメージコントロール	画像を調整します
電力コントロール	電源設定を調整します
OSD コントロール	OSD コントロールを調整します
マネージメント	DDC/CI の設定を調整して、すべての OSD メニュー設定を工場出荷時の初期設定に戻します
言語	OSD メニューを表示する言語を選択します。工場出荷時の初期設定言語は英語です
情報	モニターに関する重要な情報を選択/表示します
終了	OSD メニュー画面を終了します

自動スリープモードの使用

このモニターは自動スリープモードと呼ばれる機能をサポートしており、モニターの省電力状態を有効または無効にできます。自動スリープモードが有効になっている場合（初期設定では有効）、コンピューターから低電力モードの信号（水平同期信号と垂直同期信号のどちらかが検出されない状態）を受け取ると、モニターは省電力状態になります。

省電力状態（スリープモード）になると、モニターの画面には何も表示されず、バックライトはオフになり、電源ランプはオレンジ色に点灯します。この状態のモニターの消費電力は 0.5W 未満です。コンピューターからアクティブな信号を受け取ると（ユーザーがマウスやキーボードを操作した場合など）、モニターはスリープモードから復帰します。

自動スリープモードはオンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューで無効にできます。モニターの右側にある**メニュー** ボタンを押して OSD メニューを開きます。OSD メニューで、**[電力コントロール]** → **[電源モード]** → **[パフォーマンス]**の順に選択します。**[Save and Return]**（保存して戻る）を選択して **[電力コントロール]**メニューに戻ります。**[自動スリープモード]** → **[オフ]**の順に選択します。

3 サポートおよびトラブルシューティング

一般的なトラブルの解決方法

以下の表に、発生する可能性のあるトラブル、考えられる原因、および推奨する解決方法を示します。

トラブル	原因	解決方法
画面に何も表示されないか、画像が点滅する	電源コードが外れている	電源コードを接続します
	電源ボタンがオフになっている	モニターのフロントパネルにある電源ボタンを押します 注記： 電源ボタンを押しても電源が入らない場合は、電源ボタンを10秒程度押し続けて、電源ボタンのロックアウト機能を無効にします
	ビデオケーブルが正しく接続されていない	ビデオケーブルを正しく接続します。詳しくは、 6ページのケーブルの接続 を参照してください
	システムがスリープモードになっている	キーボードの任意のキーを押すかマウスを動かして、画面表示を消すユーティリティを無効にします
	ビデオカードに互換性がない	オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを開いて、 [入力コントロール] メニューを選択します。 [自動切替入力] を [オフ] に設定し、手動で入力を選択します
画像がぼやけている、不鮮明、または暗すぎる	輝度設定が低すぎる	OSDメニューを開いて [輝度] を選択し、必要に応じて輝度スケールを調整します
	[Check Video Cable]と画面に表示される	適切なビデオ信号ケーブルで、コンピューターとモニターを接続します。ビデオケーブルを接続するときにコンピューターの電源がオフになっていることを確認してください
[Input Signal Out of Range] というメッセージが画面に表示される	ビデオ解像度やリフレッシュレートが、モニターがサポートするレベルを超えるレベルに設定されている	サポートされている値に設定値を変更します。詳しくは、 22ページのプリセットディスプレイ解像度 を参照してください
モニターの電源は切れるが、省電力スリープモードには移行していないように見える	モニターの省電力機能が無効になっている	OSDメニューを開き、 電力コントロール → 自動スリープモード の順に選択して、自動スリープを オン に設定します
[OSD Lockout] と画面に表示される	モニターのOSDロックアウト機能が有効になっている	モニターの側面にある メニュー ボタンを10秒程度押し続け、OSDメニューのロックを解除します
[Power Button Lockout] と画面に表示される	モニターの電源ボタンのロックアウト機能が有効になっている	モニターの前面にある電源ボタンを10秒程度押し続けて、電源ボタンのロックを解除します

ボタンのロックアウト

電源ボタンまたはメニュー ボタンを 10 秒程度押し続けると、ボタンの機能がロックアウトされます。機能を復元するには、ボタンをもう一度 10 秒間押し続けます。この機能は、モニターの電源が入っていて、アクティブな信号が表示されており、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューが閉じている場合にのみ使用できます。

HP のサポート窓口へのお問い合わせ

ハードウェアまたはソフトウェアの問題を解決するには、<https://support.hp.com/jp-ja/> にアクセスしてください。このサイトでは、トラブルシューティングの手順など、お使いの製品に関する詳細情報を確認できます。また、このサイトの[お問い合わせ一覧]から HP へのお問い合わせ方法を確認できます。なお、お使いのモデルにより提供されるサービスは異なります。

お問い合わせになる前に

トラブルシューティングの項目やオンラインの技術サポートを参照しても問題が解決しない場合は、HP のサポート窓口も利用できます。HP のサポート窓口にお問い合わせになるときに、以下のような情報を事前にご準備いただくと、解決がより迅速になる場合があります。

- モニターのモデル番号
- モニターのシリアル番号
- 購入年月日および購入店名
- 問題が発生したときの状況（できるだけ具体的にお願いします）
- 表示されたエラー メッセージ
- ハードウェア構成
- 使用しているハードウェアおよびソフトウェアの名前とバージョン
- メールアドレス

製品ラベルの位置

シリアル番号および製品番号は、モニター本体の底面にあるラベルに記載されています。お使いのモデルのモニターについて HP にお問い合わせになるときに、これらの番号が必要になる場合があります。




4 モニターの保守

保守に関するガイドライン

モニターの性能を向上させ長く使用するために、以下のガイドラインを参考にしてください。


- モニターのキャビネットを開けたり自分で修理したりしないでください。このガイドに記載されている調整機能のみを使用してください。正常に動作しない場合や、モニターを落としたり破損したりした場合には、HP のサポート窓口にお問い合わせください。
- 外部電源は、モニター裏面のラベルに記載された条件に適合するものを使用してください。
- コンセントに接続する機器の定格電流の合計が電源コンセントの許容電流を、またコードに接続する機器の定格電流の合計がコードの許容電流を超えないようにしてください。各機器の定格電流（AMPS または A）は本体に貼付された電源のラベルに記載されています。
- モニターは、手が届きやすい場所にあるコンセントの近くに設置します。電源コードをコンセントから外すときは、必ずプラグをしっかりと持って抜きます。コードの部分を引っばって抜かないでください。
- モニターを使用していないときには、モニターの電源を切るようにしてください。スクリーンセーバープログラムを使用したり、モニターを使用していないときに電源を切るようにしたりすると、モニターを長くお使いいただけます。

 **注記：** モニター画面の「焼き付き」は、HP の保証の対象外です。

- キャビネットのスロットや開口部は通気のために必要です。スロットや開口部をふさいだり覆ったりしないでください。また、異物を押し込んだりしないでください。
- モニターを落としたり、不安定な台の上に置いたりしないでください。
- 電源コードの上に物を置いたり、電源コードを足で踏んだりしないでください。
- モニターは通気の良い場所に設置し、過度の光熱や湿気にさらさないようにしてください。
- モニタースタンドを取り外すときは、モニターの表面を傷つけたり、汚したり、破損したりしないように、表面が柔らかい場所に前面を下にして置いてください。

モニターの清掃

1. モニターの電源を切ってモニターの背面から電源コードを抜きます。
2. 清潔で柔らかい、静電気防止加工のされた布で画面およびキャビネットを拭いて、モニターからほこりを取り除きます。
3. 汚れが落ちにくい場合は、水とイソプロピルアルコールを 50 : 50 に混合した溶液を使用します。


 **重要**：布にクリーナーをスプレーし、湿らせた布を使用して画面をそっと拭きます。決して、クリーナーを画面に直接吹きかけないでください。クリーナーがベゼル裏側に入ってしまう、電子部品が損傷するおそれがあります。

重要：ベンゼン、シンナーなどの揮発性の溶剤など、石油系の物質を含むクリーナーをモニター画面やキャビネットの清掃に使用しないでください。これらの化学物質を使用すると、モニターが損傷するおそれがあります。

モニターの運搬

モニターを運搬する場合は、モニター出荷時の梱包箱および緩衝材、またはそれらと同等の部材を使用してしっかり梱包してください。

A 技術仕様

 **注記:** 以下の仕様はすべて、HP 製品の各コンポーネントの製造元から提供された標準的な仕様を表しています。このため、実際の動作時の数値とは異なる場合があります。

この製品の最新の仕様またはその他の仕様については、<http://www.hp.com/go/quickspecs/>（英語サイト）にアクセスして、該当するモニターモデルを検索し、モデル別の情報を参照してください。

モニター	32 インチ (81.3 cm) ワイドスクリーン
種類	AMVA+
表示可能画像サイズ	81.3 cm/32 インチ (対角方向)
傾斜角度	-5 ~ 23°
質量	
スタンドを除く	8.1 kg
スタンドを含む	9.9 kg
寸法 (スタンドを含む)	
高さ	52.2 cm
奥行き	17.9 cm
幅	74.0 cm
最大グラフィックス解像度	2560×1440 (75 Hz)
最適グラフィックス解像度	2560×1440 (60 Hz)
テキストモード	720×400
明るさ	400 nits (通常) 注記: HDR モード時の最大輝度は 600 nits (ピーク) です
ドットピッチ	0.3 mm
ピクセル密度 (Pixels Per Inch)	91.8 PPI
水平周波数	24 ~ 112 kHz
垂直周波数	48 ~ 75 Hz
環境条件 動作保証温度	
動作保証温度 (動作時)	5 ~ 35°C
保管場所の温度	-20 ~ 60°C
相対湿度	20 ~ 70%
電源	100 ~ 240 VAC、1.4 A、50/60 Hz

動作保証高度：

動作時	0 ~ 5,000 m
非動作時	0 ~ 12,192 m

測定された消費電力：

最大電力	88 W
通常設定	54 W
スリープ時	0.5 W 未満
電源切断時	0.3 W 未満

入力端子

HDMI 入力端子×2、DisplayPort×1、USB 3.0 アップストリームポート×1、USB 3.0 ダウンストリームポート×2

プリセットディスプレイ解像度

以下の表に示すディスプレイ解像度はこのモニターで使用される最も標準的なもので、工場出荷時設定として設定されています。モニターによってこれらのプリセットモードが自動的に認識され、正しいサイズの画像が画面の中央に表示されます。

プリセット	ピクセルフォーマット	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
1	640×480	31.469	59.94
2	720×400	31.469	70.087
3	800×600	37.879	60.317
4	1024×768	48.363	60.004
5	1280×720	45	60
6	1280×800	49.702	59.81
7	1280×1024	63.981	60.02
8	1440×900	55.935	59.887
9	1600×900	60	60
10	1680×1050	65.29	59.954
11	1920×1080	67.5	60
12	1920×1200	74.038	59.95
13	1600×1200	75	60
14	1920×1200	74.556	59.885
15	2560×1440	88.787	59.951

プリセット	タイミング名	ピクセルフォーマット	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
1	480p	720×480	31.469	60
2	576p	720×576	31.25	50
3	720p50	1280×720	37.5	50
4	720p60	1280×720	45	60
5	1080p60	1920×1080	67.5	60
6	1080p50	1920×1080	56.25	50

ユーザーモードの使用

以下のような場合、ビデオコントローラーから送られてくる信号がプリセットモードと一致しないことがあります。

- 標準グラフィックスアダプターを使用していない場合
- 標準グラフィックスアダプターを使用しているがプリセットモードを使用していない場合

このような場合、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューでモニターのパラメーターを再調整する必要があります。変更は、適用したいモードすべてに対して行うことができ、メモリに保存されます。モニターには新しい設定が自動的に保存され、この新しいモードはプリセットモードと同様に自動的に認識されます。プリセットモードの他に、20 以上のユーザーモードを新しく登録して保存できます。


電源アダプター

製造販売元	モデル番号	電源電圧
Chicony	TPC-CA57	19.5 V DC (4.62 A、90 W の場合)

省電力機能

このモニターでは、省電力状態がサポートされます。水平同期信号と垂直同期信号の一方または両方が検出されない場合、モニターは省電力状態になります。このように信号が検出されない場合は、モニターの画面には何も表示されず、バックライトはオフになり、電源ランプはオレンジ色に点灯します。省電力状態時のモニターの消費電力は 0.5 W 未満です。短時間のウォームアップ後に通常の動作状態に戻ります。

省電力モードの設定の手順については、コンピューターに付属の説明書を参照してください (省電力機能は、エナジーセーブ機能、パワーマネージメント機能、節電機能など、説明書によって名称が異なる場合があります)。

 **注記:** 上記のモニターの省電力機能は、省電力機能に対応するコンピューターに接続されている場合にのみ有効です。


モニターの [Sleep Timer] (スリープタイマー) ユーティリティ内で設定値を選択すると、事前に決めた時刻にモニターが省電力状態になるように設定することもできます。モニターの [Sleep Timer] ユーティリティによってモニターが省電力状態になると、電源ランプはオレンジ色で点滅します。

B ユーザー サポート

HP は、単体で、または適切な補助ツールや支援技術と組み合わせることにより、お身体の不自由な方にもお使いいただけるような製品やサービスを設計、製造、販売しています。

サポートされている支援技術

HP 製品は、さまざまなオペレーティング システム支援技術に対応しており、また、その他の支援技術と組み合わせるようにも設定できます。支援機能に関してより詳しい情報を確認するには、モニターに接続されているお使いの入力デバイスの検索機能を使用してください。

 **注記**：特定の支援技術製品について詳しくは、その製品のサポート窓口にお問い合わせください。

HP のサポート窓口へのお問い合わせ

このユーザー ガイドで提供されている情報で問題に対処できない場合は、HP のサポート窓口にお問い合わせください。日本でのサポートについては、<http://www.hp.com/jp/contact/> を参照してください。日本以外の国や地域でのサポートについては、http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact_us.html（英語サイト）から該当する国や地域、または言語を選択してください。